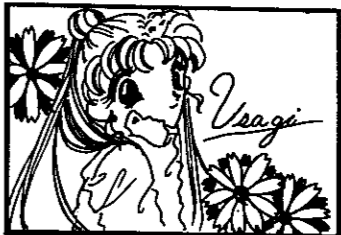


イラスト倶楽部

イラストは、はがきに黒一色ではっきりと、薄い鉛筆書きはホツにします。
 ◆ペンネーム希望の人も住所、氏名、年齢を添えて。採用分には作品を進呈。
 ◆締め切りは毎月15日、それ以降に届いたものは翌月に回します。
 ◆あて先 〒950-112 白根市大字白根1-2-35 白根市役所広報しろねイラスト係



▲P.N でんでろり〜んさん(七軒町)



▲P.N フォーチュンさん(みの口)



▲P.N モルル3世さん(大通南2・15歳)



▲P.N Iさん(能登1)

広報クイズ

〔応募方法〕 はがきに答え、住所、氏名、年齢、ご意見を書いて白根市役所広報係(〒950-112 白根市大字白根1-2-35)へ。締め切りは10月17日(必着)。正解者の中から抽選で5人に500円の図書券を、3人に県立自然科学館招待券をペアで差し上げます。

〔問題〕

- 1 今年は何年後何十周年? (ヒント112ページ) A 50年 B 20年 C 40年
 - 2 白根らしさを生かしたまちづくりの計画の名前は? (ヒント117ページ) A 11ホープ計画 B 11ライフ計画 C 11ライト計画
 - 3 ニュースポーツの一種で羽根の付いたボールをゴルフクラブで打って打数を競うスポーツの名前は? (ヒント113ページ) A 11ターゲットバードゴルフ B 11ベタンク C 11ゴルフ
- 〔当選おめでとう〕 先月の正解は①A②A③Bでした。〔図書券〕 早藤恵子(白井) 富所蘭子(高井東) 齊藤由希(大通南) 三富晃(東町) 山口雄樹(和泉) 〔自然科学館招待券〕 日高晴美(東笠巻新田) 佐藤たくや(新生町) 畠山浩美(戸頭)

◆今月のハガキから

○もうすぐ結婚して福島の方へ行きます。生まれてからずっと白根に住んでいたの、この景色を見ながら生活ができなくなると思うととても寂しいです。(H)

○市民文芸欄を楽しみにしています。歌からその方の生き方や生活がうかがえるようで、お顔も知らない方たちを楽しく想像しています。(T)

○歩道がきれいになるのはうれしいです。ベビーカーでのお出掛けが多いので、市内の道路があまり良くなり、子供がかわいそうです。きれいな歩道が増えるのを願います。(K)

市民文芸

俳句

浴衣裁つ妻旧姓の鯨差し 山田孝
 老の身を屈めに屈め葉洗ふ 和泉 伸子
 夏草やここに公孫察ありし 猪股 南魚
 長き髪ばらっとはぐし髪洗ふ 五十嵐智恵子
 さらざらと落ちる夕日や稲の花 堀内十子
 吹く風のひとつひとつの秋めける 五十嵐寛吾
 朝顔の明日咲く蕾数へをる 笠原 里津
 西瓜食ふ何も聞えぬふりをして 重木サダ子
 鮮やかなトマトの色や朝の雨 小林 スミ
 赤錆びの忘れし鉄系瓜棚 知野信一郎
 車窓より秋野を遠く生活の灯 関島さよ子
 使わずにただ持ちあるく秋扇 小川雷沙子
 黒と言ふ和服の艶や秋扇 真島つぎえ
 カラフルのリユックが動く秋野かな 小林 なお
 秋の野や古き道標傾きて 遠藤 大蔵
 秋の野や狐の嫁入り見失ふ 塚本 静子
 宴会の果てて残りし秋扇 金子 千代
 旅にきて秋野の果ての雲まろし 田中美根子
 秋扇使ふ左右の風貫ふ 丸山 虚秋
 秋扇手もち無沙汰に婚の使者 関島 秀穂

短歌
 時長くへだたり住めば娘にかけろ 電話もことは遊びつつ言う 村山 和江
 遠き日に我が着しメリンスの一つ身を解きて腰紐縫いくれし母 木川 久子

赤に黄に色鮮らけき腸内に 微塵の汚点の二つ生さきおり 阿部 テイ
 華やかな大型店舗に隠れたる さびしき裏面バイトにて覗る 田中 恭子
 汽車ごっこ好む幼は肘張りて シュッシュンポポと舌を垂引ゆく 阪井いづく
 孫傳長旅の車見送りつ 無事に着けよと一人つぶやく 齋子
 慰霊碑に啼く蟬悲し終戦の 鎮死せし人ら誰ぞ知るらむ 小出熊四郎
 月岡に八十路の友らと勇み行き 湯けむりに咲く黄昏の花 小出よしの
 静かなる夜は更け渡る虫の声 一日増しに秋深みゆく 長谷川久二

川柳
 サープ権妻に取られた失業後 西条 ムラ
 晩酌に妻が酌する下心 早川 英男
 雑路に不平不満を捨ててくる 山岡 フミ
 老いの腰伸ばして少し派手を見る 吉川 彰
 リストラの首に容赦のない水筒 今井 七郎
 うたれていよう残暑忘れる雨だから 織田 福治
 実印を押して奈落の風に合う 織田 セツ
 真夜中に蜘蛛が騒いでいる不吉 大谷 龍吉
 飛び切りの笑み今日こそ君に掛けよう 後藤マサノ
 沈黙を守り無性に乾く舌 佐藤トミノ
 清貧の夫で子宝だけ残す 佐藤 ヨキ
 政府無情利子下げ老後の首をしめ 田村 恒夫
 官邸の日暦ハラハラして捲る 高橋祐四郎
 中村 尚治



市民談話室

日ごろ考えていることや身の回りの出来事などを、500字程度にまとめて投稿してください。紙面の都合上、若干手直しさせていただきます。あて先は広報広聴係(〒950-112 白根市大字白根1-2-35 白根市役所企画財政課)です。

ストップ!!核実験



五十嵐 肇 (西酒屋)

先日、とうとうフランスで核実験が実施されました。新聞・テレビなどでこの報告を知ったときにはがく然としてしまった。
 核実験が行われれば、少なくともその周辺地域が汚染されることは必至であると思う。海が汚染されればその中に住む生物たちも皆核に汚染され、全世界の海に循環していく可能性も大きい。そうなれば、全世界の人々に核汚染が広まることになってしまう。もし、このような事態になったらどうするのだろうか。
 僕は二年前、白根市の広島非核平和研修に参加し、貴重な体験をさせていただいた。その中では、原爆投下時の広島市の生々しい状況をこの目で見、肌で感じてきた。遺族の方で悲しむ人々、今もなお、後遺症で苦しむ人々

戦後五十年の選択



真保喜三雄 (水道町5)

秋晴れのすがすがしい季節の訪れで、ほっとする今日この頃であるが、世界ではさまざまな問題が起きています。日本に原爆が投下されてから五十年

を迎えた今年、フランスでは大統領の就任後百日目、世論調査の支持率が三七%に低下する中、中国に続いて「政策に変更なし」と核実験が再開され、国際社会の矢面に立っている。我が国でも大臣を筆頭に、有志がフランス核実験の抗議集会参加のため、「ムルロア環礁での核実験に強く反対する議員の会」を引率してタヒチ島を訪問。また、グリーンピース号に日本の国会議員を含む九人の各国の議員団が乗船し、ムルロア環礁へ行くなど日本人の活躍には目を見張るものがある。
 大切なことは、唯一被爆国としての立場で率直な意見や思いを正確に次の時代に伝えていくことではないだろうか。そして、核保持は決して立派なことではないことを外交ルートを通じてアピールし、より鮮明にアジア地域全体の不安感を取り除くことこそ平和への第一歩と考える。核の使用は、地球破壊、環境汚染にとどまらず、人類衰退の引き金になると考えるのは私だけなのだろうか。

投票率は このままでいいのでしょうか



二見 義隆 (四ツ興野)

四%という投票率の低さが各マスコミで問題にされている。四四%が、日本の民主主義の危機ということであれば、それを約八ポイントも下回る県下ワースト1の白根市の投票率三六・七%という数字は、一体どういうことになるのだろうか、考え込んでしまふ。各種選挙の中で、参院選挙が私たちにとっては、一番遠い存在であるように思われることを差し引いても、三六・七%はあまりに低い数字であると思う。選挙管理委員会の方々の努力を多としながらも、白根市における市長・県議・市議選挙の投票率と比較してあまりにも低率である。市長選などの選挙は、日々の暮らしに密着し、また、毎日のように顔を合わせている人たちだからもちろん投票率は上がるとは思う。そこで、各議員の方々は、必死に集票活動を展開されているが、その方々に投票率を高めるために、もう一步の工夫と知恵を出してもらってはどうか。投票率は、絶対的民度などと陰口をささやかれまいように。県下中位くらいの投票率になるように。もちろん、私たち一人ひとりも、投票は主権者としての意志を表現することのできる主要な行動の一つであることを肝に命じて。若い人たちが未来に向けて、絶望的民度などと陰口をささやかれる自治体から巣立っていくことのないように。